

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社日本デジタル研究所 上場取引所 東
 コード番号 6935 URL http://www.jdl.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前澤 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 広報担当取締役 (氏名) 成松 祐二 (TEL) (03)5606-3111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	8,156	3.0	836	36.7	715	△7.0	541	31.3
28年3月期第1四半期	7,915	△15.1	611	△69.7	769	△65.2	411	△71.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 527百万円(10.8%) 28年3月期第1四半期 476百万円(△67.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	15.96	—
28年3月期第1四半期	12.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	116,435	81,472	69.3
28年3月期	112,519	81,622	71.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 80,729百万円 28年3月期 80,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
第2四半期(累計)	17,800	7.8	1,500	△25.5	1,500	△31.0	1,000	△26.5	29.49
通期	36,500	10.9	3,600	△4.3	3,600	△6.8	2,400	△5.9	70.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	33,952,089株	28年3月期	33,952,089株
29年3月期1Q	46,942株	28年3月期	46,826株
29年3月期1Q	33,905,176株	28年3月期1Q	33,906,160株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【コンピュータシステム事業】

主力のコンピュータシステム事業におきましては、会計事務所を核に全国の中小企業から成る当社マーケットのさらなる活性化とシェアの拡大に向けて、サイバー会計事務所構想およびJDL Entry Innovation（記帳業務革新）構想を推進しております。

当社は3年ほど前からEntry Innovation構想に基づく革新的な製品や、リモートオペレーション等の画期的な機能を搭載した製品を開発し、会計事務所に向けて新システムによる業務革新を提唱したことから、システムの買換えが進み、平成26年3月期および平成27年3月期において翌期や翌々期の需要の一部が前倒しになるなど販売が大きく伸長しましたが、前期はその反動から通期にわたって販売が低調に推移しました。

現在、同事業の売上高は約4年周期の起伏が生じており、当期はその4年目に当たるものと考えております。このような状況の中で、当第1四半期は前期同様、販売が低調に推移しております。

その結果、同事業の売上高は43億48百万円（前年同四半期比6.5%減）、経常利益は7億38百万円（前年同四半期比31.4%増）となりました。

なお、当社マーケットは4～5年サイクルで安定的にシステムの買換え需要が生じることから、本来需要は安定しており、現在4年周期の起伏はあるとしても総需要はここ数年の平均で年間200～210億円ほどの規模で推移しております。また近年、ハードウェアおよびソフトウェアの新製品を相次いで投入したことによって新規顧客の開拓が進み、シェアは拡大しております。現在、売上高が低調な状況は、マーケット拡大の一局面と考えております。

新規顧客の開拓につきましては、現在の収益全体を押し上げる要素には至っていないものの、将来の収益を大きく押し上げる要素になるものと見込んでおります。

【定期航空運送事業】

定期航空運送事業におきましては、前期に実施した機材の入れ替え（50席1機の退役と70席1機の導入）による販売座席数の増加に加え、コードシェアにおけるスキームの改定により、売上高は38億8百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

営業損益におきましては、機材の大型化に伴う減価償却費の増加など事業費の増加により、営業利益1億36百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。

経常損益におきましては、急速な円高の進行により外貨建て資産（整備預け金等）の評価替えに伴う為替差損を計上したことから、経常損失23百万円（前年同四半期は経常利益2億6百万円）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高81億56百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益8億36百万円（前年同四半期比36.7%増）、経常利益7億15百万円（前年同四半期比7.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億41百万円（前年同四半期比31.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりとなっております。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間			
	売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	経常損益 (百万円)	前年同四半期比 (%)
コンピュータシステム事業	4,348	△6.5	738	31.4
定期航空運送事業	3,808	16.7	△23	—

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期の財政状態は、次のとおりであります。

総資産は前連結会計年度末と比較して39億15百万円増加し、1,164億35百万円となりました。

増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が2億69百万円、受取手形及び売掛金が4億85百万円それぞれ増加しております。固定資産では、機械装置及び運搬具が1億31百万円減少、リース資産が31億22百万円増加しております。

流動負債では、1年内返済予定の長期借入金が4億91百万円減少、未払金が8億36百万円増加しております。固定負債では、リース債務が24億41百万円、資産除去債務が3億95百万円それぞれ増加しております。

純資産の部では、利益剰余金は1億37百万円減少、自己資本比率は2.6ポイント減少し69.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主力のコンピュータシステム事業の業績につきましては、当期4月および5月の売上高は計画を下回って推移したものの、6月の売上高は計画を上回ったことから、第2四半期以降は計画通りに推移するものと見通しております。

定期航空運送事業の業績につきましては、当第1四半期はほぼ計画通りに推移しており、第2四半期以降もほぼ計画通りに推移するものと見通しております。

連結業績予想につきましては、下振れ懸念を含みつつも、当初予想の範囲内に収まると見通されることから、平成28年5月13日の発表時から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,893,690	40,163,308
受取手形及び売掛金	4,789,124	5,274,365
金銭債権信託受益権	14,000,000	14,000,000
商品及び製品	153,111	164,720
仕掛品	283,208	252,655
原材料及び貯蔵品	1,227,203	1,201,469
繰延税金資産	527,108	563,517
1年内回収予定の長期貸付金	26,800	23,000
その他	888,186	1,225,493
貸倒引当金	△2,197	△2,208
流動資産合計	61,786,236	62,866,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,367,804	7,355,265
機械装置及び運搬具（純額）	2,651,635	2,520,100
工具、器具及び備品（純額）	461,867	439,521
土地	11,334,463	11,334,463
リース資産（純額）	12,641,649	15,764,558
その他（純額）	33,674	66,547
有形固定資産合計	34,491,095	37,480,457
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	10,671,055	10,668,012
繰延税金資産	2,503,520	2,532,152
その他	2,842,490	2,670,335
貸倒引当金	△7,812	△6,501
投資その他の資産合計	16,009,254	15,863,999
固定資産合計	50,733,423	53,568,742
資産合計	112,519,659	116,435,063

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	198,043	187,140
短期借入金	800,000	1,290,000
1年内返済予定の長期借入金	894,310	402,372
リース債務	2,747,267	3,152,887
未払金	1,832,965	2,669,435
未払法人税等	538,924	310,355
賞与引当金	750,602	993,996
修繕引当金	288,411	279,957
製品保証引当金	156,031	157,710
資産除去債務	355,152	414,805
その他	244,872	271,278
流動負債合計	8,806,579	10,129,937
固定負債		
長期借入金	3,437,990	3,337,397
リース債務	9,004,313	11,445,635
役員退職慰労引当金	195,140	132,040
製品保証引当金	1,135,290	1,123,044
退職給付に係る負債	6,996,459	7,077,695
資産除去債務	1,320,956	1,716,896
固定負債合計	22,090,148	24,832,709
負債合計	30,896,728	34,962,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,078,000	9,078,000
資本剰余金	12,121,200	12,121,200
利益剰余金	59,890,912	59,753,844
自己株式	△51,907	△52,088
株主資本合計	81,038,205	80,900,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,177	8,065
退職給付に係る調整累計額	△180,670	△179,464
その他の包括利益累計額合計	△170,492	△171,399
非支配株主持分	755,219	742,860
純資産合計	81,622,931	81,472,416
負債純資産合計	112,519,659	116,435,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,915,873	8,156,175
売上原価	4,251,800	4,628,804
売上総利益	3,664,073	3,527,370
販売費及び一般管理費	3,052,690	2,691,309
営業利益	611,382	836,060
営業外収益		
受取利息及び配当金	599	455
有価証券利息	90,615	22,971
為替差益	2,526	-
受取保険金	59,030	-
雑収入	40,827	23,521
その他	10,500	9,884
営業外収益合計	204,099	56,833
営業外費用		
支払利息	41,816	36,097
為替差損	-	136,822
その他	4,496	4,338
営業外費用合計	46,313	177,257
経常利益	769,168	715,636
特別損失		
固定資産除却損	594	8,870
特別損失合計	594	8,870
税金等調整前四半期純利益	768,574	706,766
法人税、住民税及び事業税	503,224	238,102
法人税等調整額	△217,647	△60,013
法人税等合計	285,576	178,088
四半期純利益	482,997	528,677
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	71,000	△12,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	411,997	541,036

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	482,997	528,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,174	△2,111
退職給付に係る調整額	△11,035	1,205
その他の包括利益合計	△6,860	△906
四半期包括利益	476,136	527,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405,136	540,130
非支配株主に係る四半期包括利益	71,000	△12,358

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	コンピュータ システム事業	定期航空 運送事業	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	4,652,067	3,263,806	7,915,873	—	7,915,873
セグメント間の 内部売上高又は振替高	119	—	119	△119	—
合計	4,652,186	3,263,806	7,915,992	△119	7,915,873
セグメント利益	562,413	206,773	769,186	△17	769,168

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	コンピュータ システム事業	定期航空 運送事業	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	4,348,128	3,808,046	8,156,175	—	8,156,175
セグメント間の 内部売上高又は振替高	201	—	201	△201	—
合計	4,348,330	3,808,046	8,156,376	△201	8,156,175
セグメント利益 又は損失(△)	738,969	△23,332	715,636	0	715,636

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。